



The Y's MEN's CLUB of

もりおか



<VOL117.2017.9>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Henry Grindheim (NOR)
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)
東日本区理事	栗本 治郎 (熱海)
北東部長	鈴木 伊知郎 (宇都宮東)
もりおかクラブ会長	井上 修三

「ともに、光の中を歩もう」
「ワイズ運動を尊重しよう」
「広げようワイズの仲間」
「距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨こう」
「原点に戻って 20周年をめざそう！」

今月の聖句 詩篇記37章37節

「貧しくても、誠実に歩む者は、富んでいても、曲がった道を歩む者にまさる。」

会長	井上 修三
副会長	三田 庸平
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	小川 嘉文
メネット	井上 優子

10月定例会のご案内

日時 平成29年10月14日 (第2土曜日) 18時30分
場所 ジャーラン・ジャーラン 会費2,000円
卓話 村上章子(あやこ)様 および入会式
第二例会 10月23日(第3金曜日) 18時30分
場所 駅前 うまや

井上会長巻頭挨拶



井上会長

やったー！ やっていただきました！
「第1回盛岡YMCAチャリティーラン」大成功！まずは大会責任者本町センター所長 伊藤 眞太郎君のお礼の言葉より。「皆様に支えられ、助けられ、無事に第1回目のチャリティーランを終えることができました。「違いを超えてつながる社会」が当日あの空間に

できていたように感じており、やってよかったと実感しております。小さなこと、課題はたくさんありますが、第2回へとしっかりとつなげていければと思います。約1年、右も左も分からない状態から始まり、皆様には様々ご迷惑ご心配をおかけしました。最後まで支えて下さり、ご指導くださり本当にありがとうございました。今から第2回目の開催が楽しみです。今後ともぜひよろしくお願い致します」

実行委員長としては「ありがとう」の一言です。この大会に盛岡YMCAの特徴が顕著に現れていました。障害についての学習です。どれだけ時間を割いたことでしょうか。その成果を張り出し、会場でも参加者が考えを残すことができるように付箋、ペンが準備

され、親子で熱心に書いている様子も見ることができました。昨年仙台での参加をするに当たっても前もっての学習、準備に驚かされたものですが、脱帽…！ 会全体をすべて若者が仕切っていたことも成功の一因。盛岡YMCAのOB、OGも多数参加で大いに盛り上がりました。(勿論ワイズも影で支えていたと自負していますが。)初参加者の「雰囲気は自然で違和感がない。」という言葉を目にすることができたのも嬉しいことでした。報告書は後日となりますが、日本各地からの大きなご支援に改めて感謝申し上げます。

9月第一例会の報告

平成29年9月1日(土) ジャーラン・ジャーラン(盛岡駅前)で開催、大関、長岡、中原、三田、井上、井上優子、魚住、山口、濱塚、中原陽子(敬称略)。ゲスト、藤井 茂様(新渡戸基金事務局局長)村上章子様(盛岡YMCAユース委員会委員)以上12名の参加で開催されました。

ゲストの藤井さんは6年ぶりくらいの出席です。新渡戸稲造の面白いお話を独特の語り口調でお話するのが特徴で、今晚も健在でした。今回は、「新渡戸稲造こぼれ話し。」と題して卓話を頂きました。このあと特集しておりますので楽しみに。



藤井 茂様



村上章子(あやこ)さん

村上章子(あやこ)さんは、盛岡YMCAのユース委員として今年の3月から長岡と共に活動している仲間です。もりおかワイズに入会希望という事で

今回が例会初参加です。ものすごいバイタリティーでユース委員会を機関車のように引っ張って行っている方です。

9月1日の例会でした。9月の行事も盛りだくさんでしたので、

なにか随分前の出来事のような気がしますが、今月の例会です。さあ、9月の始まりです。今月も張り切っていきましょう。



9月定例会集合写真、いいですねえ

新渡戸 稲造 こぼれ話

藤井茂 様(新渡戸基金事務局長)

皆さん、こんばんは。久々にもりおかワイズメンズクラブ例会にお招きいただきました。今日は、「新渡戸稲造こぼれ話」と題して、稲造を紐解くキーワードを基にお話していきます。



新渡戸稲造 1903年ころ

「悪たれ坊主」 稲造は世界的な紳士になった訳ですが、少年の頃は全くの悪たれ坊主でした。下の橋町かいわいでは評判の悪たれ坊主で、母親はずいぶん近所に謝ってばかりいました。家に来たお客さんの用事が済むと「用が済んだら帰れと。」言ったそうです。5歳か6歳の頃でした。ある面、頭が良かったと思います。さらに、顔に自信がなく、二十歳の頃までは女性の前に出るのを嫌がっていたそうです。家族から顔が不細工だと言われ続けていたようです。しかし、みなさんが写真や銅像で見る稲造は決して不細工などではないと思いませんか。

「母の励まし」、「かに文字」、「英語が得意」 明治4年、九歳の時上京しますが、母親の言葉が「世界に名を揚げよ」というものでした。その前に稲造は、かかりつけの医者からアルファベットを教してもらいました。このアルファベットを「かに文字」と称していました。盛岡で一番最初に英語を習った男の子だったようです。英語に秀でていた稲造の下地がこの頃にできたのだと思います。生涯治らなかつたのは盛岡弁でした。上京したとき、東京の言葉が解らなかつたそうです。英語は札幌農学校時代、その他の学校を含め常に一番の成績でした。数学は不得意でした。国語も歴史なども嫌がっていました。

「明治天皇のご巡幸」 明治天皇が新渡戸の家にお泊りになられたのです。十和田の祖父の家でした。新渡戸伝(つとう)という祖父は十和田を開いた人物でした。明治天皇がここを通過したとき行在所にしたのでした。この時の明治天皇は「農業に励めよ」のお言葉を残し、これが東京の新聞に載ったのでした。新聞で知った稲造は、おじいさんが褒められた、農業を褒められた。これは、農業の方に進もうと思いました。翌年札幌農学校に入学しました。その動機になったのです。そこで勉強したのが英語でした。クラーク博士はいまいませんでしたが、クラーク博士の影響は色濃く残っていました。

「東京大学へ入学」 その後、東京大学に入りますが、札幌農学校に比べて物足りなさを感じ、今度はアメリカに行きま

す。教授から、なぜ農学校から東大へ進路を変更したんだと問われ「太平洋の橋になりたい。」と発言しました。あちらのものを取り入れて、日本の物も発信して、太平洋の架け橋になりたい。二十歳前後の頃の気持ちが1900年の武士道の執筆の遠因となりました。武士道は日本人の心を書いたのですが、英文で日本人を発信したのはこの武士道だけです。ポルチモアのジョンズホプキンス大学で学びました。

「叔父から1000円」、「アメリカへ留学」 叔父は南部藩の武士でした。明治政府の施策、金録公債証書の発行により得たお金を新渡戸に渡し、留学をさせてくれました。アメリカ人は日本の事を知らないという事がよく解り、日本の事を英文で書かなければならないと思いはじめました。

「各地で講演」「メリーエルキントンとの出会い」 メリーエルキントンというフィラデルフィアの実業家の娘と出会いました。メリーが新渡戸を好きになりましたが、メリーの両親は付き合いや結婚には大反対でした。「東洋の肌が黄色い男に娘をやったまらるか。」という感覚でした。それを振り切って明治24年に結婚しました。新渡戸は生涯メリーを愛し続けました。メリーは新渡戸の行いを余りあるくらいに補佐してくれました。



メリーと稲造

「宗教教育はあるのか。」宗教について、稲造は、宗教教育は日本の学校では無いと説明しました。ドイツに渡りベルギーのラブレ教授から質問された事は、「宗教がなくて、なぜ日本人は道徳的にいろんな事がしっかりできるのですか。」というものでした。自身この事を考え抜いた結果が武士道だったのです。ルーズベルト大統領が30冊『武士道』の本を買い、周囲の人たちに分け与えました、この事が新聞に載り、メリーの両親も二人の関係を認めてくれました。

「妻からの送金」 メリーは、出産後の肥立ちが悪く生んだ子も亡くしてしまいました。アメリカの実家に帰ったら、雇っていた女中さんが亡くなった、その亡くなった女中さんがメリーにお金を残してくれていたのです。このお金を基に、貧しい子供たちに無料で教育できる学校を作ろうと考え、遠友夜学校を開校しました。稲造本人、札幌農学校の学生などが教師としてあたりました。5歳から20歳くらの子供たちに教育の場を提供しました。

「台湾への勧誘」 札幌農学校に戻ろうとしたとき、後藤新平に台湾に来ないかと誘われました。台湾の農業振興に力を貸し

て欲しいとの依頼でした。稲造は台湾のサトウキビの生産拡大に取り組み、数十倍の収益拡大を成し遂げました。後藤新平は報酬を1等級の給料をくれましたが、稲造は給料や労働条件には全くこだわっていませんでした。後藤新平はそのことをよく解っていたとのこと。後藤新平のいざないにより、京都大学、一高(現東大教養学部)の校長になりました。学生に対して、学業はもう十分だ、人間を磨けと教えました。学校のそばに一軒家をたて人格形成の場を提供し、ここで学んだ数多くの学生が戦後の日本を支えていきました。

「倫理講和の人氣」 一高時代『実業之日本』という本に月2回原稿を執筆していました。一般大衆に向けての文章でした。結婚相手の男をどのように見定めるか、悪口をいわれたときの対処方法とか、一般人の生活に役立つ文を書きました。勉強だけして人の気持ちを解らない人間になるな、という事を言いたかったのでしょうか。東京女子大の学長になった時に、学習の強要や自分の信じているキリスト教の勧誘などは一切行いませんでした。キリスト教に入信したい学生がいても受け流していました。妻のメリーは信者獲得のチャンスを逃してと残念がったのですが、稲造はまた来るよといいました。一年後またその学生は訪ねてきたのでした。

「犠牲と奉仕」 Sacrifice & Serviceの精神で東京女子大の校章をSとSの絡み合ったマークをデザインしました。勉強は午前中だけで十分、午後からは人の為を思って生活しなさいと教えました。



「国際連盟時代」 後藤新平が引っ張ってアメリカやヨーロッパを廻りました。第一次世界大戦が終わり、ベルサイユ条約で国際連盟ができました。戦勝国の日本は事務次長を割り当て

られ、稲造が事務次長に就任しました。ヨーロッパの国々は「日本は好戦国で侵略するものではありませんか。」と言われました。そのような国でも、国民でもない自分がその事を証明しようと考えました。どのような人にも親切に慈悲深く接しようと行動に移したのです。数年後、連盟のクリスマス会である女性がメモをみんなに渡し、「この国際連盟で大変人格が素晴らしい人を3人挙げてください。」と言いました。結果、全員が1位稲造を挙げました。日本人の素晴らしさ、世界に通用する紳士が東洋にもいるのだという事を世界に知らしめたのでした。これが稲造の最大の功績だと思っています。

「子供好き」 稲造は子供をみると近寄って行き、お菓子を振舞っていました。キャラメルおじさんと呼ばれ、子供たちに大人気でした。

「松山での講演」 「日本を滅ぼすのは、共産党か軍人である」と発言しました。大変な目にあっています。非常に率直でした。愛媛新聞は1か月に渡り、糾弾し続けました。

「生涯、実行した事」 毎朝水をかぶる事、夜寝る前に黙祷する事、日記を書くこと英文で書いていました、公開にはなっていませんが残っています。そして生涯どれだけの人を助けたか稲造の葬儀には多くの貧しい人たちが集まったのです。見返りのない慈善を続けてきた稲造ならではのお話です。

みなさん、どうでしたか稲造の精神はYMCA、ワイズメンズクラブに通じるものがあるような気がします。稲造のように頭がよくないのですが、思いは習っていきましょう。もっと若いころに稲造のお話を聴けたら、私の人生は変わっていたかもしれません。

「ズリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

9月の出席率	10/13	76 %	ゲスト3名	ビジター1名	メネット1名
メーキャップ	2	名		9月切手	25 g 累計 173 g
9月のにこにこ	9,500	円 累計	11,000 円	9月プルタブ	8,000 g 累計 22,000 g
9月 石鹸	0	円 累計	563 円	りんご	0 円 累計 円
9月震災募金	0	円 累計	0 円	ファンド合計	4,000 円

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

9月のハッピーバースディ 9月20日 根内 直美様 誕生日おめでとうございます。

2017-18 ワイズメンズクラブ国際協会 北東部会

2017~18北東部会開催

宇都宮東クラブ25周年記念例会開催

平成29年9月9日、宇都宮グランドホテルにて第21回北東部会が開催されました。もりおかクラブからは、井上会長、大関会計、井上優子、長岡(継承略)が出席しました。



青系のバナーは多いのですが、もりおかクラブのバナーが一番綺麗だなと。洗練されたデザイン、夜空をバックにそびえる岩手山、先輩クラブの星に向かう銀河列車、それがシンプルに配置された今回改めて感じられ、わがもりおかクラブのバナー、美しい。井上会長は誇らしげに、バナーセレモニーに入場しました。

年に1回の北東部のお祭りです。華々しくスタートです。



バナーセレモニー

2016年度のブースター賞は、石巻広域クラブの平井メン、清水メン、日野メンの三名でした。おめでとうございます。私たちもいつかは受賞したいものです。ユースコンボケーションの発表は、とちぎYMCAリーダーの川口夏菜子さん(ぐっちょりリーダー)です。アジア・パシフィック・コンボケーションの報告をいただきました。



みーやんとぐっちょです。

今年2月のミラクルプロジェクトで出会い、東日本区大会、今回で3回目の対面でした。リーダーと3回合えばもう友達ですね、最近二十歳になったばかりの現役バリバリのリーダーでした。ありがとうございました。会場にはもう一人、ミラクルプロジェクトで出会った、吉森仁美さん(みーやん)がいました。二人のリーダーに再開できて、長岡は来たかいたと心うきうきでした。

記念講演は、「認知症になっても繋がる人」と題して、宇都宮東クラブ、金沢林子さんが行いました。一言に認知症と言っても、その種類や治療方法は数多くあるとの説明に、そのような病気には縁がなかった長岡は、大いに驚き、また他人ごとではないと心に刻みました。

記念撮影は、天皇陛下御宿泊を記念して造られた庭園で、夕

日をいっぱい浴びての集合写真でした。短い時間でしたが充実の北東部会でした。



16時から、宇都宮東クラブ設立25周年記念例会です。北東部会実行委員長の宇都宮東クラブ、岡田孝司会長の25周年の歩みが、面白かったです。

宇都宮東クラブ 25周年記念例会

ものすごい行動力を発揮して東日本にとどまらず海外にまでその影響を及ぼして来たバイタリティに改めて感心させられました。確かに、宮古ボランティアセンターを建ててくれたのも岡田さんでしたし、石倉を利用し、サロンを開設した事、マイクロバスを強引にフィリピンに送ったことなど、もはや武勇伝とも言える活躍を知るに付、とてもまねはできないな、と感じてしまった次第です。また、晚餐会に披露してくれた、ゴスペル隊の唄声にうっとりしました。手話を交えてのコーラスに感心させられ、障害者と共に楽しむには健常者も努力しなければならいと教えられました。素晴らしかったです。



左側の黒いシャツ女性が手話です、中央の紫のシャツの男性が鈴木北東部長さらに今回の記念例会の予算を工面するために屋台を開き、少ない参加費で開催してくれたことに心から御礼申し上げます。ご苦労様でした、そしてありがとうございました。

盛岡YMCA向中野プライムタイムバザー開催

今年で4回目の向中野プライムタイムのバザーが開催されました。過去2回の経験を生かして今回は焼き台を持ち込み、焼きそばの販売を行いました。が、大失敗食材が足りずお昼で終了、反省です。ノウハウがたりません。隣は例年通り、うす焼き、ちびピザ、焼きソーセージ、ポップコーンの販売です。小学生のボランティアが一生懸命働きました。ありがとうね。バザーの商品も多種多様にわたり、年々充実してきています。地域の方々の理解と協力もあって、お客様も過去最多を記録したようです。



センター長小川君



みんなでチクサクコール、行けぞ、お～

子供たちが楽しむ企画が多く出され、シューティングゲーム、玉入れ、スーパーボールすくい、かき氷など楽しさ満載のバザーで

した。収益金は100%、熊本地震復興支援に寄付されました。基本子供相手の企画ですので、多くの収益は見込めませんが、次からは魅力ある商品の準備、さらなる遊びの企画、地域の方々を巻き込んでお祭りのようなバザーに育てていきたいですね。とちぎYMCAのさくらんぼ幼稚園のバザーなどを見学して運営や企画を見学するのも一つの方法かもしれません。当日は、運営に協力してくれたリーダーたちも多数いましたが、遊びに来てくれたリーダーや職員、OB、OGも駆けつけてくれました。ますおが社会人1年生で、仕事の途中で顔をみせてくれました。スーツ姿が板に付いてきたようです。いい顔をしていました。カッコいい。



大盛況、かき氷販売



この子らは、ひげたまごの子。かわいい～

第1回盛岡YMCAインターナショナル チャリティラン2017開催!



さあ、いくぜ～

昨年、仙台YMCAのチャリティランを学習させていただき、盛岡でのチャリティラン開催の準備がスタートしました。実行委員会が立ち上がりました。中心は、伊藤眞太郎君(ひげたまご)、委員長は、もりおかクラブ井上会長です。委員会を重ねて11回、ついにこの時9月23日がやってきました。

なんと昨夜から雨模様、不安です。長岡が携わる企画は絶対に晴れると公言して、雨で中止の場合の企画はなくなるよ、と言ってはみたものの、天気には勝てない。でも、集合時間には小雨に、できるぞ！全員安堵しました。



第1回、チャリティランスタートです。

チーム、マイペースのチーム、いろんなスタートの方法がありました。ルールは申告したゴールタイムと実際のゴールタイムを比較して差異の少ないチームが優勝というものです。早くても、遅くてもだめなのです。6Kmちよつとの道のりをどれだけ正確に走れるかの競技ルールでした。競技実況の小川君(さる)が3分でスタート実況が終わると思ったら、スタート200m地点にまだチームが走っています。走っているというよりもコースで遊んでいます。むつくと愉快な仲間チームです。平均年齢5歳くらいでしょうか、なんと全員でスタートして遊び始めています。しかたなく、第一走者の大人が走り始めました。その後遊びの子供たちはスタート地点にショートカットして戻ってきました。競技は続きます。トップのチームは約15分で1周を終わり、2周目へ。各チーム続々2周目へ入っていきます。タイム計測の係、出番だよ。しっかりゴールタイムを計測してね。団子でゴールに入ってきます、少し混乱していましたが何とかなりました。だってチーム全員でゴールするチームが続々、アンカーは赤のゼッケンだから解るさ。といっても大人数でゴールするから、「え、どの人?」、まあ、1秒2秒の誤差は順位に問題はないさ。よく見てみると、チーム全員で周回しているチームが多数ありました。これは想定外の出来事。なんでもOKの競技になりました。距離が短く、周回コースのため仲良く完走を目指しておりました。伊藤眞太郎君は、「楽しく、仲良く、健常者も、障害者も、みんな一緒に走っている。予想もしなかったけど良い感じでレースが進んでいる。」同感です、本当に良い感じです。

競技が終わり、午後のお楽しみ、天気が完全に回復して、縄跳びダブルダッチ、手話コーラス、さんさ踊り。次々にステージ発表です。特にさんさ踊りは最優秀賞を授賞の岩手県立大さんさチームです。しなやかな女性らしい太鼓と踊り、笛、男性

の踊りもしなやかです。これは最優秀賞だけの事はある。参加者を巻き込んでの輪踊りで最高潮に盛り上がりました。

セラピー犬の登場です。ふかふかの毛を持った大型犬、おとなしく何をされてもじっとなすがまま、これなら安心して触れ合えます。車椅子の体験コーナーでは電動車いすが登場、多少の坂は超えられると説明していましたが、長野の小林さんが紹介してくれたJINRIKIの方が実用的で確実にバリアフリーがない所でも移動できるなと心の中で思っていました。

ハンドマッサージのサービスコーナーもありました。自身が運営側でなければいの一番にやってほしい企画です。レースから、お楽しみ企画、そして屋台の出店。楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

最後に閉会式です、各賞表彰とラッフルくじの当選者発表で大盛り上がりを見せました。一気に走り切ったチャリティラン、出走チームは少なかったけど、第1回の大会は大成功に終わったと思います。糧にして第2回に繋げていきましょう。

最後に、救急担当として東八幡平病院から及川院長(もりおかワイズメンバー)と看護師の女性が待機してくれました。大きなトラブルもなく終えましたが運営側と参加者の安心を縁の下で支えてくれました。感謝申し上げます、



もりおかワイズがんばれ～



もりおかワイズチーム、おじさん軍団最終ゴール



優勝タムタムさん



アカペラのコーラス隊



ハンドセラピー



ダブルダッチ、飛べた?



電動車椅子



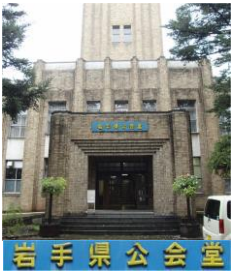
さっころちよいわやっせ～

しなやかなさんさ踊り、女性的な動きが、岩手県立大さんさチームの特徴です。8月のさんさ踊りで、再優秀賞を受賞しています。



輪踊りの完成、楽むさんさ踊り。盛岡の伝統です。

岩手県公会堂内部探索



1927年開館。設計は、大隈講堂や日比谷公会堂の設計で有名な建築家・佐藤功一が担当した。当初は岩手県議会議事堂の機能を持っており、当時としては高層の建築物で、塔屋からは盛岡の町が見渡せたという。塔屋を除き2階建て。大小16の会議室、大ホール、ギャラリーなどで構成される。大ホールは、盛岡文士劇(中止前)など、演劇上演や音楽公演用のホールとして親しまれた。創建後80年を経過し、大規模な補修も行われなかったことから老朽化は否めず、存廃が議論された時期もあった。大きな補修、改築を経ていないため、県議会議事堂当時の装飾・施設などが残されている。(ウィキペディアより)

階段は大理石、段も手すりも大理石です。支柱も石の加工柱でした。すべり止めや補助の手すりは後から足したものでしょう。重厚感があります。登っても、いわぎん赤レンガのようなギシギシという音はしません。建築当初の姿の階段です。この階段は塔の再上階までであるのですが、現在は2階までしか解放していません。



階段は大理石、段も手すりも大理石です。支柱も石の加工柱でした。すべり止めや補助の手すりは後から足したものでしょう。重厚感があります。登っても、いわぎん赤レンガのようなギシギシという音はしません。建築当初の姿の階段です。この階段は塔の再上階までであるのですが、現在は2階までしか解放していません。



2階にある、番号のついている部屋は随時貸出しています。岩手県の議会場や、知事の部屋で使われていました。こんな狭い部屋で岩手県の議会を開いていたなんて、本当ですか。と思

編集後記

9月は、大きな行事が重なり軽く触れるだけの記事はありませんでした。新渡戸稲造のお話は、改めて偉大な人物であると再認識しました。盛岡の人であることに誇りを持ちます。

岩手県公会堂は文化財指定を受け、解体の危機は乗り越えたようです。バスセンターはなくなってしまいました。古い物を大切

ってしまいます。



今回、唯一入れたのが21号室、大食堂でした。食堂と聞いて厨房と広いフロアを想像しました。実際は、演題とそれを囲む家具でした。上を見るとバルコニーがあり、ここでも演説が出来そうです。直接照明と、間接照明が天井の白さに反射してとても明るく広いフロアでした。



演題と後方の家具です。近くでみるとものすごい使用感です。普通に使用していたのでしょうか。暖房はスチームです。このようなスチーム暖房を見たのはずいぶん前です。今でも動いていたら本当にすごい事です。そして、今の子供たちは使えないダイヤル式の黒電話、しかも、10PPSの遅いタイプでした。これは現役の内線電話でした。すごいですね。

最近、コスプレの愛好家がこの公会堂の外観や、各部屋を使用して写真撮影会などを開いているようです。ネットで調べると数多くの写真がヒットしました。価値を認めて趣味に生かしているのでしょうか。現役の公民館としての役割をはたしていました。ここで、ワイズの例会など開いてみてはいかがでしょうか。

に使用し続けていきましょう。

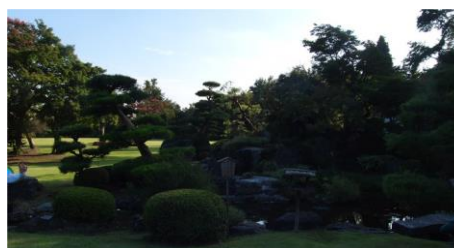
今月は、お月見の話題が聞こえてきませんでしたので、調べてみました。今年の中秋の名月は10月4日でした。9月であると思っていましたので、ちょっとびっくりです。10月だと神無月の名月になるのですね。澄み切った夜空に輝く中秋の名月が楽しみです。



岡田宇都宮東クラブ会長



鈴木北東部長



宇都宮GH庭園



昭和天皇来館記念